

# 平成 26 年度 事業報告

(自:平成 26 年 4 月 1 日 至:平成 27 年 3 月 31 日)

## I 事業の状況

本財団は、薬学及び関連諸分野の研究を奨励振興するため、平成 26 年度は以下の諸事業を行った。

### 1 研究助成金の授与

薬学及び関連諸分野の基礎並びに応用研究に関し、将来有望な若い研究者に対して、助成金を授与した。

グループ A は助成対象を化学系、物理系、生物系、医療系の各分野及びこれらの複合分野の基礎的研究から合計 10 件（1 件 100 万円）を、グループ B については調査・統計研究を含む以下の各分野の研究、すなわち医療現場（薬剤部・薬局）における研究、伝統医薬に関連した研究、衛生化学・環境化学を指向した研究、医薬品・医療分野における分析を対象とした研究、社会薬学・レギュラトリーサイエンス研究及びこれらの複合分野の応用研究から合計 8 件以上（1 件 80 万円以内、総額 640 万円以内）を選考することとした。

グループ A は 128 件、グループ B は 48 件の応募があった。選考委員会からの授与候補者、助成金額の選考結果を受けて、理事会においてグループ A は助成金額は 1 件 100 万円で 10 件、グループ B は 80 万円 3 件、70 万円 1 件、60 万円 4 件、50 万円 1 件、40 万円 1 件で合計 10 件、総額 640 万円を授与することを決めた。助成金授与決定研究題目及び受領者は〔別紙 1〕のとおりである。

### 2 国際学術交流補助金の授与

#### 1) 研究者の海外派遣補助金の授与

平成 27 年度に、海外で開催される薬学及び関連諸分野の国際会議等への参加旅費等の補助を希望する研究者を対象に採択枠 2 件として募集したところ、応募がなかった。

#### 2) 海外からの研究者招聘補助金の授与

平成 27 年度（2015 年 3 月の日本薬学会第 135 年会を含む）に、国内で開催される薬学及び関連諸分野の学術集会等への海外在住研究者の招聘費補助 2 件の募集をしたところ、4 件の応募があり選考の結果、2 件に 40 万円（総額

80万円)の補助金を授与した。補助金を授与した申請者及び招聘者と開催学会は〔別紙1〕のとおりである。

3) 国際会議開催補助金の授与

平成27年度に国内で開催される薬学及び関連諸分野の国際会議を開催する主催団体を対象に3件の募集をしたところ、3件の応募があり選考の結果、3件に各50万円の補助金(総額150万円)を授与した。補助金を授与した申請者および開催会議(学会)は〔別紙1〕のとおりである。

3 刊行物

1) 「薬学研究の進歩-研究成果報告集31」の刊行

平成27年3月に平成23年度の研究助成金受領者18名の研究成果、平成25年度に補助を受けた国際会議の開催報告(3件)を収載した「薬学研究の進歩31」(A4版本文130頁)を刊行した。

2) 機関誌「薬奨ニュース」の発行

平成26年7月および27年1月に機関誌「薬奨ニュース No.19、No.20」を発行した。掲載内容は本財団のホームページにおいても公開した。

以 上

第35回(平成26年度)薬学研究奨励財団 研究助成金(グループA・B)及び  
国際学術交流補助金(海外招聘・国際会議開催)受領者

I 研究助成金

1 グループA(1件100万円、10件、総額1,000万円)

- 「光学活性なベンゾ縮合複素環の収束合成法の開発と創薬研究への応用」  
(大阪大学大学院・薬学研究科・助教) 井川 貴詞
- 「高分子抗癌剤の腫瘍移行性増大を意図した腫瘍内環境制御ナノ粒子の開発」  
(熊本大学・薬学部・助教) 異島 優
- 「光を用いた幹細胞の人工的操作法の開発と創薬研究への応用」  
(京都大学・白眉センター/ウイルス研究所・特定准教授) 今吉 格
- 「新規 TGF- $\beta$  活性化制御分子による線維化疾患治療戦略」  
(北海道大学大学院・薬学研究院・准教授) 今 重之
- 「グリア細胞によるグルタミン酸放出機構とその機能的意義の解明」  
(東京大学大学院・薬学系研究科・特任助教) 佐々木拓哉
- 「不均一系触媒によるアルコールの脱水素反応を基盤とした環境調和型反応の開発」  
(岐阜薬科大学・助教) 澤間 善成
- 「自己免疫疾患根治を可能とする逆標的化リポソームを用いた新規治療法の開発」  
(静岡県立大学・薬学部・講師) 清水 広介
- 「細胞運動における細胞膜のリン脂質組成変化の作用機構」  
(京都大学大学院・薬学研究科・准教授) 申 惠媛
- 「標的タンパク質分解誘導ペプチドの創製」  
(国立医薬品食品衛生研究所・有機化学部第二室・室長) 出水 庸介
- 「がん細胞の選択的可視化を目指した新規 pH 応答性蛍光ポリマープローブの開発」  
(慶應義塾大学・薬学部・助教) 蛭田 勇樹  
(応募件数 128 件)

2 グループB(1件40~80万円、10件、総額640万円)

- 「脂質異常症のバイオマーカー探索を目的とした各種中性脂質個別定量法の開発」  
(滋賀医科大学医学部附属病院・薬剤部・特任助教) 池田 義人
- 「神経—シュワン細胞相互作用に着目した抗がん剤誘発末梢神経障害の発生・  
難治化のメカニズム解明と治療法に関する探索的研究」  
(京都大学医学部附属病院・薬剤部・助教) 今井 哲司
- 「スイッチ OTC 薬導入による医療用医薬品処方への影響と社会経済学的効用の評価」  
(慶應義塾大学・薬学部・准教授) 漆原 尚巳
- 「急性心不全(特に収縮保持性心不全)の発症における他臓器連関および薬物  
療法の検討」(神戸市立医療センター中央市民病院・循環器内科副医長) 北井 豪
- 「人工キメラレクチンを用いた病原性真菌細胞壁糖鎖の新規検出法の開発」  
(東北薬科大学・准教授) 佐々木雅人

「慢性腎不全患者における CYP3A 活性低下の分子機序解明を目的とした  
遺伝的・生理的背景の調査」

(大分大学医学部附属病院・薬剤部・薬剤部長補佐) 鈴木 陽介

「環境発がん物質ベンゾ[a]ピレンの尿中代謝物をバイオマーカーとする  
曝露評価法の開発」

(金沢大学・医薬保健研究域薬学系・准教授) 鳥羽 陽

「免疫調節機能を有するアロマテラピー精油の in vitro 評価系の開発と、  
これを用いた精油による免疫調節メカニズムの検討」

(武蔵野大学・薬学研究所・講師) 水野 大

「高尿酸血症患者における薬力学的指標に基づくフェブキソスタット投与  
設計法の確立」

浜松医科大学医学部附属病院・薬剤部・薬剤主任) 見野 靖晃

「薬剤性腎障害の分子機構の解明と特異的尿中バイオマーカーの同定」

(九州大学病院・薬剤部・薬剤主任) 矢野 貴久

(応募件数 48 件)

## II 国際学術交流補助金

1 研究者の海外派遣補助金 (1 件 30 万円以内、2 件以内) 今年度応募者無し

2 海外からの研究者招聘補助金 (1 件 40 万円、2 件、総額 80 万円)

「日本薬学会 第 135 年会」 2015. 3. 25～28 神戸

(ミュンヘン大学 臨床神経免疫学研究所・主任研究員) 川上 直人

【申請者 組織委員長 大阪大学大学院・薬学研究科・薬学部長 小林資正】

「第 19 回シトクロム P450 国際会議」 2015. 6. 12～15 東京

(アメリカ食品医薬品庁・医薬品評価研究センター・上級アドバイザー) Lei Zhang PhD.

【申請者 組織委員長 昭和薬科大学・教授 山崎浩史】

(応募件数 4 件)

3 国際会議の開催補助金 (1 件 50 万円、3 件、総額 150 万円)

「第 8 回アジアシクロデキストリンカンファレンス/

第 32 回シクロデキストリンシンポジウム合同会議」 2015. 5. 14～16 熊本

(組織委員長 熊本大学大学院・生命科学研究部・教授) 有馬 英俊

「第 14 回あわじしま感染症・免疫フォーラム」 2015. 9. 8～11 淡路

(会長 東京大学・医科学研究所・教授) 川口 寧

「第 13 回 国際有機化学京都会議」 2015. 11. 9～13 京都

(組織委員長 京都大学大学院・工学研究科・教授) 村上 正浩

(応募件数 3 件)

以上